
PrintWalker/LXE 説明書(アラート編)

V16L60 用

まえがき

本書の目的

『PrintWalker/LXE』は、『Linux』から、LAN（TCP/IP）に接続されたシステムプリンタ（PS5000シリーズおよびVSPシリーズ）に印刷を行うソフトウェア製品です。

本書は、『PrintWalker/LXE』が提供するアラート機能について説明しています。

本書の読者

このマニュアルは、本製品を導入する方および本製品を使用される方を対象にしています。

表記上の約束

このマニュアルは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

字体または記号	意味
ABCabc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータの出力例を表します。
ABCabc123 (太字)	ユーザが入力する文字を表します。
<i>ABCabc123</i> (斜体)	変数を表します。実際に使用する時には、特定の名前または値で置き換えます。
¥	枠で囲まれたコード例で、文字列がページ行幅を超える場合に、継続を示します。
\$ command	一般ユーザでのコマンド入力を表します。
# command	スーパー・ユーザでのコマンド入力を表します。

本書では、オペレーティングシステムを略称で表記している箇所があります。

Linuxの場合

製品名称	略称
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	RHEL8(Intel64)

※略称表記の際、アーキテクチャーに依存しない場合はアーキテクチャーの表記（括弧内）を省略することがあります。

Windowsの場合

製品名称	略称
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation	Windows Server 2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	
Windows® 10 Home	Windows 10
Windows® 10 Pro	
Windows® 10 Enterprise	
Windows® 10 Education	
Windows® 8.1	Windows 8.1
Windows® 8.1 Pro	
Windows® 8.1 Enterprise	

本書では、“Linuxサーバ”を“ホスト”と表記している箇所があります。

本書では、“VSPシリーズ”や“VSPプリンタ”と表記している箇所がありますが、特にことわりがない限り、マルチプラットフォームプリンタ（PS5000シリーズ）も含みます。

本書の構成

このマニュアルは、以下の構成になっています。

第1部 はじめに

第1章 概 要

アラート機能の概要について説明します。

第2部 動作環境と環境設定

第2章 動作環境

アラート機能の動作環境について説明します。

第3章 環境設定

アラート機能の環境設定について説明します。

第3部 運用

第4章 PWメッセージ連携の運用

PWメッセージ連携時の運用方法について説明します。

第5章 Webメッセージ連携の運用

Webメッセージ連携時の運用方法について説明します。

登録商標について

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Common UNIX Printing System、CUPSおよびCUPSロゴは、Apple Inc. の登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、および Internet Explorer は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載の会社名、商品名等は各社の商標、または登録商標である場合があります。以降、本書では、®、™ を略記しています。

2020年 8月 初 版

告知文

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

お 願 い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2004-2020

目次

第1部	はじめに.....	1
第1章	概 要.....	2
1.1	アラート機能とは.....	3
1.2	PWメッセージ連携.....	4
1.3	Webメッセージ連携.....	5
第2部	動作環境と環境設定.....	6
第2章	動作環境.....	7
2.1	PWメッセージ連携の動作環境.....	8
2.2	Webメッセージ連携の動作環境.....	9
第3章	環境設定.....	10
3.1	Linuxサーバの環境設定.....	11
3.1.1	メッセージ通知先の定義.....	11
3.1.2	故障時出力先プリンタ名の定義.....	13
3.1.3	動作環境の定義.....	14
3.2	クライアントの環境設定 (PWメッセージ連携時).....	15
3.2.1	インストールと環境設定.....	15
3.2.2	環境設定に関する注意事項.....	15
3.3	メッセージ管理サーバの環境設定 (Webメッセージ連携時).....	16
3.3.1	インストールと環境設定.....	16
第3部	運用.....	17
第4章	PWメッセージ連携の運用.....	18
4.1	PWメッセージ通知パネル.....	19
4.2	PWメッセージウィンドウ.....	20
4.2.1	エラーメッセージ.....	20
4.2.2	情報メッセージ.....	23
4.2.3	警告メッセージ.....	26
4.2.4	PWメッセージウィンドウの注意事項.....	28
4.3	運用上の注意事項.....	29
第5章	Webメッセージ連携の運用.....	30
5.1	Webメッセージスタートページ.....	31
5.1.1	Webメッセージスタートページ.....	31
5.1.2	メッセージ通知パネル.....	32
5.2	Webメッセージウィンドウ.....	33
5.2.1	エラーメッセージ.....	33
5.2.2	情報メッセージ.....	36
5.2.3	警告メッセージ.....	39
5.2.4	Webメッセージウィンドウの注意事項.....	41

5.3 運用上の注意事項	42
--------------------	----

第1部 はじめに

第1章 概 要

本章では、アラート機能について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 1.1 アラート機能とは
- 1.2 PWメッセージ連携
- 1.3 Webメッセージ連携

1.1 アラート機能とは

システムプリンタ（VSPシリーズおよびPS5000シリーズ）への印刷中に、異常や用紙掛け替えなどが発生した場合、ユーザにメッセージを通知します。また、メッセージが通知された印刷要求に対しての操作を対話形式で簡単に行うことができます。本書ではこれをアラート機能と言います。

アラート機能で通知されるメッセージには以下の3種類があります。

- エラーメッセージ
プリンタで発生したエラーを通知するメッセージです。
- 情報メッセージ
用紙掛け替え通知や、試し打ち印刷が終了したことを通知するメッセージです。
- 警告メッセージ
アラート機能による操作が正常に行われなかった場合に通知されるメッセージです。

アラート機能には、次の2通りがあります。

- PWメッセージ連携
- Webメッセージ連携

1.2 PWメッセージ連携

「PWメッセージ管理」、および、「PWメッセージクライアント」（注）がインストールされている任意のコンピュータにメッセージを通知します。

注：Windows上でVSP/PS/VSプリンタを制御する『PrintWalker/PM』に同梱されているメッセージ管理ソフトウェアです。

図1.1にメッセージ通知の流れを示します。

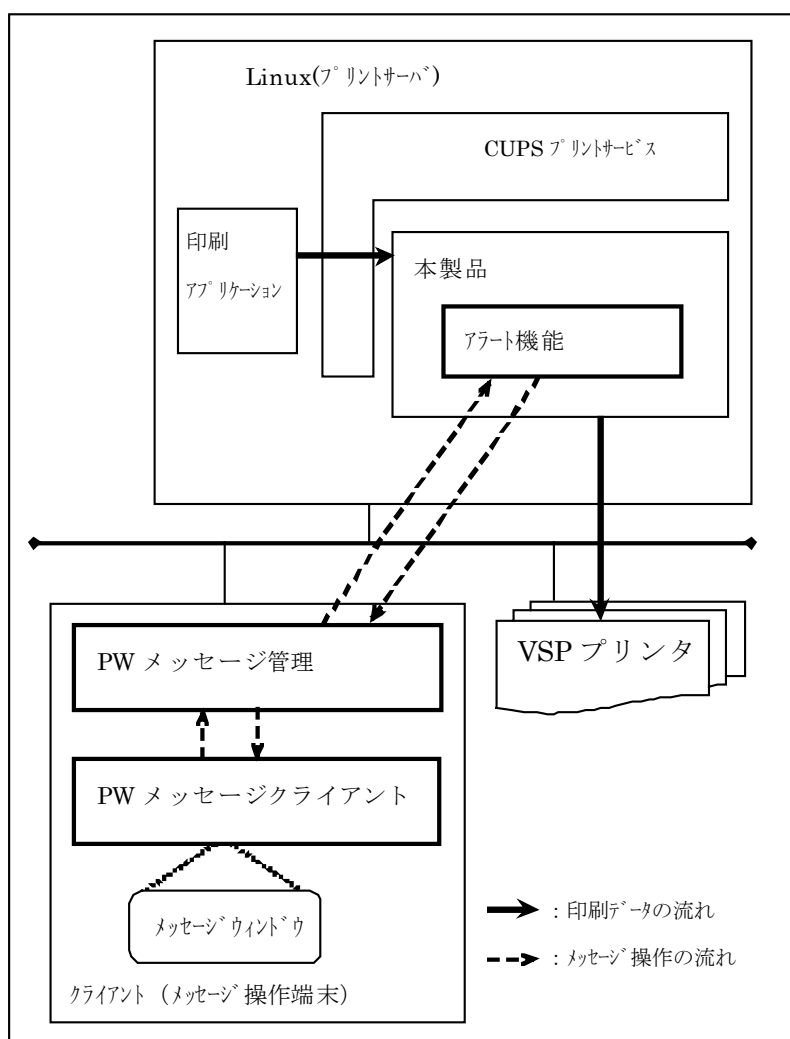


図1.1 メッセージの通知 (PWメッセージ連携)

1.3 Webメッセージ連携

メッセージ管理サーバ（注）上のWWWサーバを利用し、Webブラウザ（Java対応）がインストールされている任意のコンピュータにメッセージを通知します。

注：Windows上でVSP/PS/VSプリンタを制御する『PrintWalker/PM』に同梱されているメッセージ管理ソフトウェア「PWメッセージ管理」がインストールされたコンピュータです。

図1.2にメッセージ通知の流れを示します。

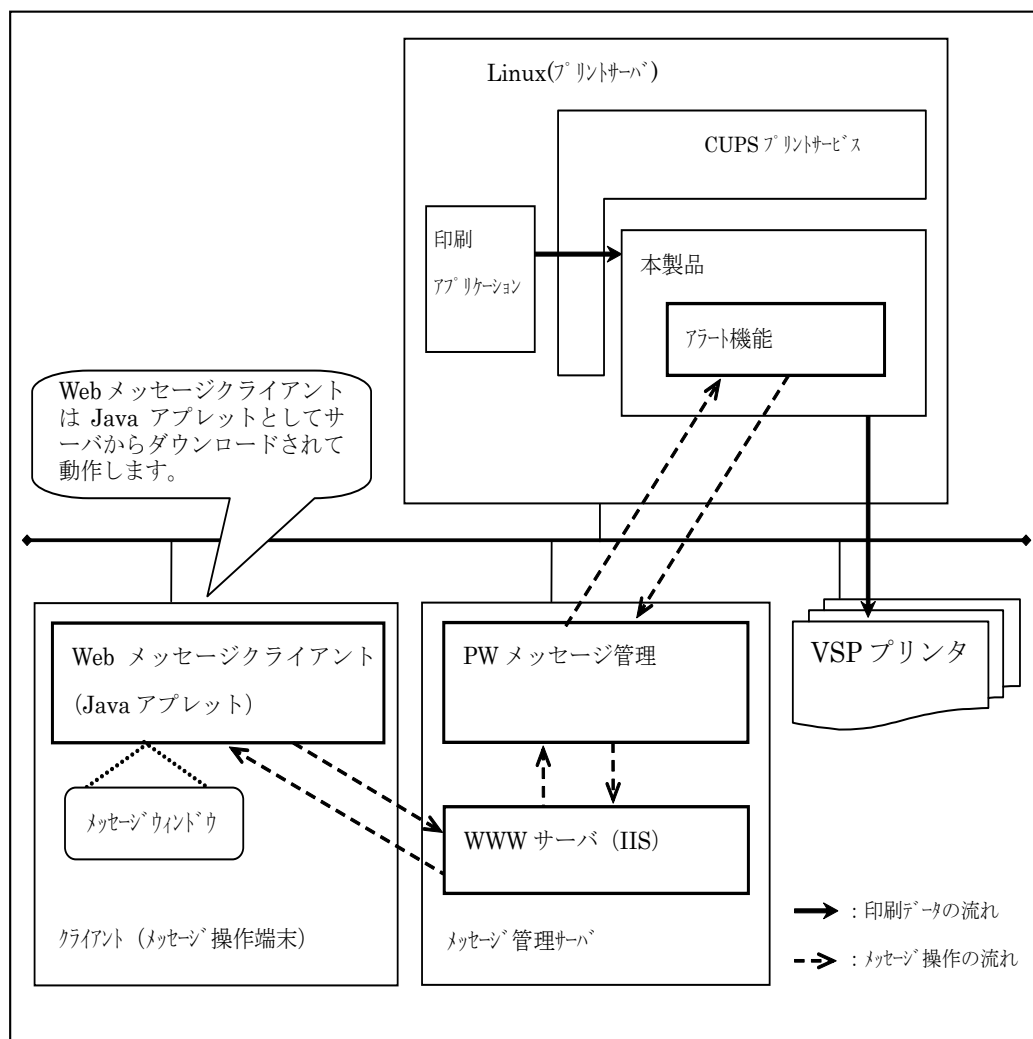


図1.2 メッセージの通知（Webメッセージ連携）

第2部 動作環境と環境設定

第2章 動作環境

本章では、動作環境について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 2.1 PWメッセージ連携の動作環境
- 2.2 Webメッセージ連携の動作環境

2.1 PWメッセージ連携の動作環境

PWメッセージ連携時のクライアント（メッセージ操作端末）の動作環境は以下のとおりです。
詳細は『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

・オペレーティングシステム

後述の必須ソフトウェア（PWメッセージ管理、および、PWメッセージクライアント）が動作可能なオペレーティングシステムです。

[PWメッセージ管理、PWメッセージクライアントのバージョンがV81L70の場合]

- ・Windows 8.1
- ・Windows 10
- ・Windows Server 2012 R2
- ・Windows Server 2016
- ・Windows Server 2019
- など

・必須ソフトウェア

- ・PWメッセージ管理
- ・PWメッセージクライアント

※これらは、『PrintWalker/PM』 V81L30以降に同梱されています。

2.2 Webメッセージ連携の動作環境

Webメッセージ連携時のメッセージ管理サーバ、および、クライアント（メッセージ操作端末）の動作環境は以下のとおりです。

詳細は『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

(1) メッセージ管理サーバ

・オペレーティングシステム

後述の必須ソフトウェア（PWメッセージ管理）が動作可能なオペレーティングシステムです。

[PWメッセージ管理のバージョンがV81L70の場合]

- ・Windows 8.1
- ・Windows 10
- ・Windows Server 2012 R2
- ・Windows Server 2016
- ・Windows Server 2019
- など

・Webサーバ

- ・Internet Information Service(IIS)

・必須ソフトウェア

- ・PWメッセージ管理

※『PrintWalker/PM』 V81L30以降に同梱されています。

(2) クライアント（メッセージ操作端末）

・オペレーティングシステム

[PWメッセージ管理のバージョンがV81L70の場合]

- ・Windows 8.1
- ・Windows 10
- ・Windows Server 2012 R2
- ・Windows Server 2016
- ・Windows Server 2019
- など

・Webブラウザ

[PWメッセージ管理のバージョンがV81L70の場合]

- ・Internet Explorer 11 が必要です。

第3章 環境設定

本章では、環境設定について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 3.1 Linuxサーバの環境設定
- 3.2 クライアントの環境設定（PWメッセージ連携時）
- 3.3 メッセージ管理サーバの環境設定（Webメッセージ連携時）

3.1 Linuxサーバの環境設定

Linuxサーバ側の環境設定方法を説明します。

以下の定義を行います。

- － メッセージ通知先
- － 故障時出力先プリンタ名
- － 動作環境

3.1.1 メッセージ通知先の定義

プリンタ毎に、メッセージを通知するクライアントを定義します。

スーパー・ユーザ権限で、以下のファイルをviコマンド等のテキストエディタで編集します。

```
/etc/opt/FJSPrweb/prweb/conf/pwmsg_alert
```

記述例を以下に示します。

(例)

```
#////////////////////////////////////
#//  PrintWalker/LXE PWMSG Message Destination file.    //
#//  Copyright(C) 2009,2010 Fuji Xerox Co., Ltd.        //
#////////////////////////////////////
#PrinterName, pwmsgServer:PortNumber, INET
PRT1, pc3fwest:9930, v6      ← ポート番号、ネットワーク接続指定を記述した例
├-----┤
│         │               プリンタ名
├-----┤
│         │               メッセージ通知先とポート番号
├-----┤
│         │               ネットワーク接続指定
PRT2, 192.168.112.50        ← ポート番号、ネットワーク接続指定を省略した例
PRT3, 192.168.112.51        # 3F-north
PRT4, 192.168.112.52        # 3F-east
#Web server name or IP address:PortNumber
PWWEB_SERVER=192.168.112.10 ← ポート番号を省略した例
└--- Webサーバ（メッセージ管理サーバ） ※Webメッセージ連携時のみ必要
```

1つのプリンタ名に対して、表3.1に記載された情報をカンマ区切りで1行に記述します。

なお、“#”以降はコメントとして扱われます。

補足：同じプリンタ名が複数行に重複して記述された場合は、先に記述された方が有効となります。

表3.1 メッセージ通知先の記述内容

項目	内容
プリンタ名	Linuxサーバ上に定義されたプリンタ名を指定します。 ※大文字と小文字を間違えないように記述してください。
メッセージ通知先とポート番号	メッセージ通知先となるクライアントのIPアドレスまたはホスト名（注1）と、ポート番号（注2）を次の形式で記述します。 IPアドレスまたはホスト名:ポート番号 ポート番号を変更しない場合は“:ポート番号”は省略できます（デフォルトは9929）。
ネットワーク接続指定	メッセージを通知するクライアントとLinuxサーバ間の通信プロトコル（IPv4またはIPv6）を指定する項目です。メッセージ通知先をホスト名で記述している場合のみ有効となります。 本項目は省略できます（デフォルトは‘auto’）。 ● ‘auto’を指定した場合 名前解決（ホスト名からIPアドレスへの変換）で取得したIPアドレスで接続します。IPv4とIPv6両方のアドレスを取得した場合、取得した順に接続を試みます。取得の順序はシステムに依存します。 ● ‘v6’を指定した場合 名前解決でIPv4とIPv6両方のアドレスを取得しても、IPv6でのみ接続します。 ● ‘v4’を指定した場合 名前解決でIPv4とIPv6両方のアドレスを取得しても、IPv4でのみ接続します。
Webサーバとポート番号 (PWWEB_SERVER)	本項目は、Webメッセージ連携の場合のみ記述します。 Webサーバ（メッセージ管理サーバ）のIPアドレスまたはホスト名と、ポート番号（注3）を次の形式で記述します。 IPアドレスまたはホスト名:ポート番号 ポート番号を変更しない場合は“:ポート番号”は省略できます（デフォルトは9929）。 なお、本項目が記述されている場合、メッセージ通知先に記述されたポート番号、およびネットワーク接続指定は無効となります。 ※Webメッセージ連携の場合、IPv6は未サポートです。Webサーバ（メッセージ管理サーバ）とLinuxサーバ間、および、Webサーバとメッセージ通知先との間の通信はIPv4で行われます。

注1：IPv6の場合はホスト名を記述してください。IPアドレスを記述することは出来ません。

なお、ホスト名を記述したときは、下記の環境で名前解決（ホスト名からIPアドレスへの変換）ができることが必要です。

PWメッセージ連携の場合：Linuxサーバ、クライアント

Webメッセージ連携の場合：Linuxサーバ

注2：Linuxサーバとクライアント間の通信に使用するポート番号です。

注3：LinuxサーバとWebサーバ（メッセージ管理サーバ）、および、クライアント間の通信に使用するポート番号です。

補足：「PWメッセージ連携」を使用するか「Webメッセージ連携」を使用するかは、Webサーバを指定するかどうかで決定されます。

PWメッセージ連携の場合：Webサーバの指定なし

Webメッセージ連携の場合：Webサーバの指定あり

3.1.2 故障時出力先プリンタ名の定義

エラーメッセージや情報メッセージの第二画面に故障時出力先として表示するプリンタ名を定義します。

スーパー・ユーザ権限で、以下のファイルをviコマンド等のテキストエディタで編集します。

```
/etc/opt/FJSPVprweb/prweb/conf/pwmsg_group
```

記述例を以下に示します。

(例)

```
#//////////////////////////////////////////
#//  PrintWalker/LXE PWMSG Alternative Printer Group file. //
#//  Copyright(C) 2009 Fuji Xerox Co., Ltd.                //
#//////////////////////////////////////////
#PrinterName1,PrinterName2,PrinterName3, ... ,PrinterNameN
LBP1, LBP2, LBP3          ← グループ 1
NLP1, NLP2, NLP3, NLP4    ← グループ 2
```

プリンタ名を1つずつカンマ区切りで記述します。1行に記述した複数のプリンタ名が1つのグループとして定義されます。メッセージが通知された場合、通知対象のプリンタ名が含まれるグループに属するプリンタ名が、故障時出力先プリンタ名として選択可能となります（通知対象のプリンタ名は含まれません）。

プリンタ名は、大文字と小文字を間違えないように記述してください。

なお、“#”以降はコメントとして扱われます。

上の例の場合、次のようになります。

表3.2 故障時出力先（例）

メッセージ通知対象のプリンタ名	故障時出力先のプリンタ名
LBP1の場合	LBP2、LBP3
NLP2の場合	NLP1、NLP3、NLP4

【注意事項】

- グループには、同じ型名のプリンタ名を定義してください。出力先を異なる型名のプリンタ名に変更した場合、印刷結果は保証されません。
- 故障時出力先に表示されるプリンタ名は最大8つです。これを超えた場合、先に記述されているものから順に8つまでが選択されます。
- 同じプリンタ名が複数のグループに含まれていた場合は、先に記述されている方が有効になります。

3.1.3 動作環境の定義

アラート機能の動作環境を定義します。

スーパー・ユーザ権限で、以下のファイルをviコマンド等のテキストエディタで編集します。

```
/etc/opt/FJSVprweb/prweb/conf/pwmsg_env
```

記述例を以下に示します。

(例)

```
#//////////////////////////////////////////
#//  PrintWalker/LXE PWMSG Environment file.          //
#//  Copyright(C) 2009 Fuji Xerox Co., Ltd.            //
#//////////////////////////////////////////
PRINT_SERVER      :PRTSVR_1          #Print server symbol name
MSGPOP            :OFF                #ON, OFF. default=ON
```

“項目名：”の後に設定値を記述します。項目名、および設定値を表3.3に示します。
なお、“#”以降はコメントとして扱われます。

表3.3 アラート機能の動作環境の記述内容

項目名	内容
PRINT_SERVER	メッセージウィンドウの第一画面／メッセージ一覧に表示される印刷サーバ名を定義する項目です。最大20文字で、英数字と“_”（アンダーバー）が使用できます。 本項目を定義しない場合、印刷サーバのホスト名が定義されたものとして動作します。
MSGPOP	クライアント上に表示するメッセージウィンドウをポップアップ表示させるかどうかを指定します。※必ず大文字で記述してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ‘ON’ を指定した場合 ポップアップ表示する。 ● ‘OFF’ を指定した場合 ポップアップ表示しない。 この場合、メッセージを表示するには次のようにする必要があります。 PWメッセージ連携の場合： PWメッセージ通知パネルをクリックする。 Webメッセージ連携の場合： Webメッセージスタートページの“Webメッセージウィンドウ”と記載された枠をクリックする。

3.2 クライアントの環境設定（PWメッセージ連携時）

PWメッセージ連携時のクライアントの環境設定について説明します。

3.2.1 インストールと環境設定

『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書に従って、PWメッセージ管理、および、PWメッセージクライアントをインストールし（注）、環境設定を行います。

（注）PWメッセージ管理、および、PWメッセージクライアントをインストールする場合、基本部（必須コンポーネント）もインストールが必要となります。

3.2.2 環境設定に関する注意事項

- 本製品でPWメッセージ連携を行う場合、PWメッセージ管理サーバとPWメッセージクライアントを、同一コンピュータとする必要があります。
- クライアントがターミナルサービス環境の場合、PWメッセージ管理の環境設定における「マルチユーザモードにする」指定の有効／無効によって、メッセージ通知は以下ようになります。

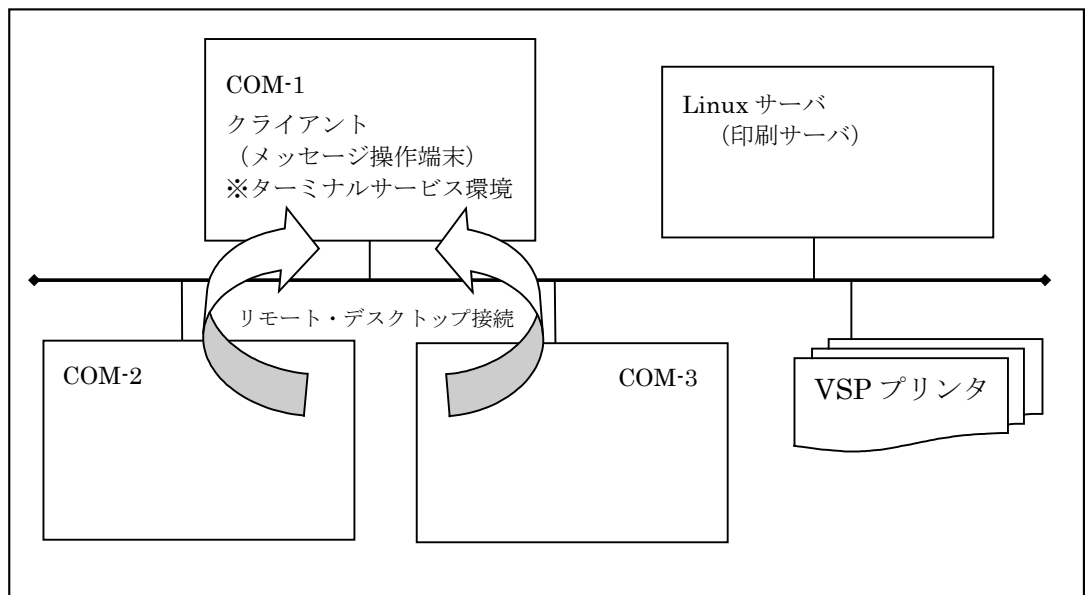


図3.1 ターミナルサービス環境（例）

表3.4 ターミナルサービス環境でのメッセージ通知

「マルチユーザモードにする」指定	メッセージ通知		
	COM-1	COM-2	COM-3
無効	通知される	通知される	通知される
有効	通知される	通知されない	通知されない

3.3 メッセージ管理サーバの環境設定（Webメッセージ連携時）

Webメッセージ連携時のメッセージ管理サーバの環境設定について説明します。

3.3.1 インストールと環境設定

『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書に従って、PWメッセージ管理をインストールし（注）、環境設定を行います。また、Webサーバ（IIS）の設定を行います。

（注）PWメッセージ管理をインストールする場合、基本部（必須コンポーネント）もインストールが必要となります。

第3部 運用

第4章 PWメッセージ連携の運用

本章では、PWメッセージ連携時の運用方法について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 4.1 PWメッセージ通知パネル
- 4.2 PWメッセージウィンドウ
- 4.3 運用上の注意事項

4.1 PWメッセージ通知パネル

PWメッセージ連携にてメッセージをクライアントに表示するには、あらかじめクライアント側でPWメッセージ通知パネルを起動しておく必要があります。下記の2つの方法で起動することができます。

(1) スタートメニューからの起動

スタートメニューの「PrintWalker/PM」の「PWメッセージ通知パネル」を選択します。

(2) ログオン時の自動起動

PWメッセージ通知パネルのメニューから「動作環境設定」を選択し、“スタートログオン時に自動起動する”をチェックすると、ログオン時に自動起動します。

なお、起動時に最小化することもできます（図4.1、図4.2は通常サイズ）。

PWメッセージ通知パネルを起動すると、図4.1のパネルが表示されます。

メッセージが到着すると、パネルの色が図4.2のように変化します。それをクリックすると、メッセージウィンドウが表示されます。



図4.1 PWメッセージ通知パネル
(メッセージ受信待機時)



図4.2 PWメッセージ通知パネル
(メッセージ受信時)

4.2 PWメッセージウィンドウ

PWメッセージウィンドウには、以下のメッセージが表示されます。

- エラーメッセージ
- 情報メッセージ
- 警告メッセージ

4.2.1 エラーメッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには、以下のものがあります。

- 印刷時のプリンタ異常

本メッセージは、以下の場合に表示が取り下げられます。

- プリンタ異常が回復しスタート状態になった場合
- サーバにて印刷リトライ開始された場合
- 印刷要求が削除／保留された場合
- プリンタが停止された場合

印刷操作

PWメッセージウィンドウから以下のプリンタ操作ができます。PWメッセージウィンドウは、エラーとなった印刷要求への対処指示を対話形式で簡単に操作できるウィンドウです。

- 続行
- 削除
- 指定ファイル／指定部数／指定ページからの印刷再開
- 保留
- テストプリント
- 印刷先プリンタの変更

表示画面

PWメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

【第一画面】

エラーが発生した場合に表示される画面です。画面の表示概要を図4.3に示します。(プリンタ名が“LBPFNP”の場合)

また、図4.3の画面の説明を表4.1に示します。



図4.3 PWメッセージウィンドウ（エラーメッセージの画面）

表4.1 PWメッセージウィンドウ（エラーメッセージの画面）の説明

項目	意味
表示内容	エラー番号
	エラー番号が表示されます。
	通知元
	「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
	メッセージ
	メッセージが表示されます。
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
表示内容	所有者
	所有者が表示されます。
続行ボタン	印刷を続けます。
操作ボタン	印刷操作のための画面（第二画面）を表示します。
削除ボタン	印刷要求を削除します。
一覧ボタン	PWメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 PWメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

【第二画面】

PWメッセージウィンドウ（エラー）メッセージ画面で、「操作」ボタンを押下することで表示される第二画面にて、プリンタ操作ができます。第二画面の表示概要を図4.4に示します(プリンタ名が“LBPFNP”の場合)。

また、図4.4の画面の説明を表4.2に示します。



図4.4 PWメッセージウィンドウ（エラーメッセージの第二画面）

表4.2 PWメッセージウィンドウ（エラーメッセージの第二画面）の説明

項目	意味
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
	所有者
	所有者が表示されます。
	ファイル情報
	印刷文書の総ファイル数が1の場合、グレースアウト/入力禁止となります。
	経過ファイル（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みファイル数が表示されます。
	経過ファイル（分母）
	印刷文書の総ファイル数が表示されます。
	ファイル指定
	印刷再開するファイルを指定します。
	部数情報
	印刷文書の総部数が1の場合、グレースアウト/入力禁止となります。
	経過部数（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済み部数が表示されます。
	経過部数（分母）
	印刷文書の総部数が表示されます。
	部数指定
	印刷再開する部数を指定します。
	経過ページ（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みページ数が表示されます。プリンタとの回線切断やプリンタを電源断した場合は、実際の印刷枚数より少なく表示される場合があります。
	経過ページ（分母）
	印刷文書の総ページ数が表示されます。 （本版数では、常に0が表示されます）
	ページ指定
	印刷再開するページを指定します。
	故障時出力先
	このリストから印刷先プリンタの変更が可能です。 移動されるのは、該当印刷のみです。 なお、選択可能なプリンタについては、「3.1.2 故障時出力先プリンタ名の定義」を参照してください。
続行ボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置から印刷を再開します。	
削除ボタン	
印刷要求を削除します。（第一画面の削除と同じです）	
保留ボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置で印刷を保留します。	
テストプリントボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置で試し打ち印刷を実施します。	
操作取消ボタン	
第一画面に戻ります。	

【注意事項】

- プリンタ異常回復後からエラーメッセージの表示が取り下げられる間に印刷操作を行った場合には、プリンタ装置の自動再開印刷機能により、異常が発生したページの次の数ページが印刷される場合があります。
- プリンタ電源断などの要因でプリンタと通信できない場合、または、プリンタ装置で重度のハードエラーが検出された場合に通知されるメッセージは、エラー通知から約1分後の自動リトライ時に、一旦メッセージが取り下げられます。エラー要因が解除されていない場合は、再びメッセージが通知されます。
なお、自動リトライの間隔は、環境ファイルの“RETRYINTERVAL1”の値で変更できます。環境ファイルの設定値については、【導入編】付録B 環境ファイルを参照してください。
- 故障時出力先で印刷先が変更できるのは、該当印刷のみです。

4.2.2 情報メッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには以下のものがあります。

- 用紙掛け替え通知
- 試し打ち終了通知

本メッセージは、以下の場合に表示が取り下げられます。

- 印刷要求が削除／保留された場合
- プリンタが停止された場合

印刷操作

PWメッセージウィンドウから以下のプリンタ操作ができます。PWメッセージウィンドウは、印刷要求への対処指示を対話形式で簡単に操作できるウィンドウです。

- 続行
- 削除
- 指定ファイル／指定部数／指定ページからの印刷再開
- 保留
- テストプリント（試し打ち終了通知時のみ）
- 印刷先プリンタの変更

表示画面

PWメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

[第一画面]

情報メッセージが通知された場合に表示される画面です。第一画面の表示概要を図4.5、図4.6に示します。（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）

また、図4.5および図4.6の画面の説明を表4.3に示します。

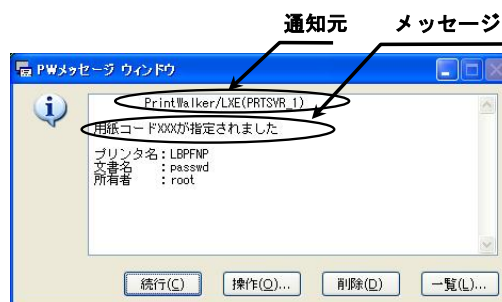


図4.5 PWメッセージウィンドウ
（用紙掛け替え通知時の画面）

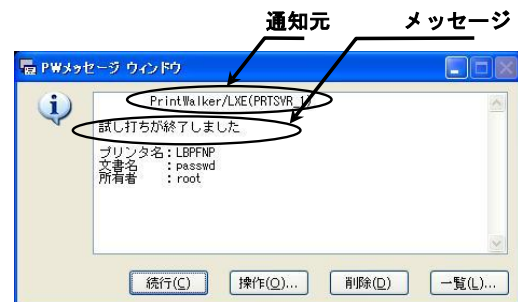


図4.6 PWメッセージウィンドウ
（試し打ち終了時の画面）

表4.3 PWメッセージウィンドウ（情報メッセージの画面）の説明

項目	意味
表示内容	通知元 「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。 印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
	メッセージ メッセージが表示されます。
	プリンタ名 メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名 文書名が表示されます。
	所有者 所有者が表示されます。
続行ボタン	印刷を継続します。試し打ちの応答メッセージの場合、次ページから印刷します。
操作ボタン	印刷操作のための画面（第二画面）を表示します。
削除ボタン	印刷要求を削除します。
一覧ボタン	PWメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 PWメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

【第二画面】

PWメッセージウィンドウ（情報）メッセージ画面で、「操作」ボタンを押下することで表示される第二画面にて、プリンタ操作ができます。第二画面の表示概要を図4.7に示します（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）。

また、図4.7の画面の説明を表4.4に示します。



図4.7 PWメッセージウィンドウ（情報メッセージの第二画面）

表4.4 PWメッセージウィンドウ（情報メッセージの第二画面）の説明

項目	意味
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
	所有者
	所有者が表示されます。
	ファイル情報
	印刷文書の総ファイル数が1の場合、グレースアウト/入力禁止となります。
	経過ファイル（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みファイル数が表示されます。
	経過ファイル（分母）
	印刷文書の総ファイル数が表示されます。
	ファイル指定
	印刷再開するファイルを指定します。
	部数情報
	印刷文書の総部数が1の場合、グレースアウト/入力禁止となります。
	経過部数（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済み部数が表示されます。
	経過部数（分母）
	印刷文書の総部数が表示されます。
	部数指定
	印刷再開する部数を指定します。
	経過ページ（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みページ数が表示されます。プリンタとの回線切断やプリンタを電源断した場合は、実際の印刷枚数より少なく表示される場合があります。
	経過ページ（分母）
	印刷文書の総ページ数が表示されます。 （本版数では、常に0が表示されます）
	ページ指定
	印刷再開するページを指定します。
	故障時出力先
	このリストから印刷先プリンタの変更が可能です。 移動されるのは、該当印刷のみです。 なお、選択可能なプリンタについては、「3.1.2 故障時出力先プリンタ名の定義」を参照してください。
続行ボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置から印刷を再開します。	
削除ボタン	
印刷要求を削除します。（第一画面の削除と同じです）	
保留ボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置で印刷を保留します。	
テストプリントボタン	
選択されたプリンタの指定ページ位置で試し打ちを実施します。 ※用紙掛け替え通知時には表示されません。	
操作取消ボタン	
第一画面に戻ります。	

【注意事項】

- 試し打ち終了通知に対して第一画面で続行した場合、試し打ち印刷されたページの次のページから印刷を継続します。
- 試し打ち終了通知に対して第二画面で続行した場合、指定したページの試し打ち印刷を行います。

4.2.3 警告メッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには以下のものがあります。

- PWメッセージウィンドウから印刷操作を行ったが、印刷操作できなかった。

本メッセージは、自動的に取り下げられません。

本メッセージに対する印刷操作はできません。

本メッセージが表示された場合は、印刷結果、および、印刷要求の状態を確認してください。

表示画面

PWメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

画面の表示概要を図4.8に示します。(プリンタ名が“LBPFNP”の場合)
また、図4.8の画面の説明を表4.5に示します。

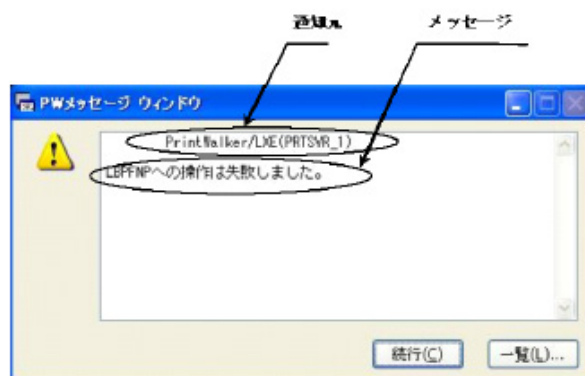


図4.8 PWメッセージウィンドウ（警告メッセージの画面）

表4.5 PWメッセージウィンドウ（警告メッセージの画面）の説明

項目	意味
通知元	「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。 印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
メッセージ	メッセージが表示されます。表示されるメッセージは表4.6のとおりです。なお、表4.6の【メッセージ】中のPRINTERには、プリンタ名が表示されます。
続行ボタン	PWメッセージウィンドウを閉じます。
一覧ボタン	PWメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 PWメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

表4.6 警告メッセージ

【メッセージ】	PRINTERへの操作は実施されませんでした。
【 意 味 】	プリンタの操作ができませんでした。以下の理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・対象プリンタが存在しない。・対象プリンタが停止状態である。・対象印刷要求が保留状態である。・対象印刷要求が存在しない。
【メッセージ】	PRINTERへの操作は失敗しました。
【 意 味 】	プリンタの操作ができませんでした。以下の理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・印刷コマンド実行時にエラーとなった。・移動先のプリンタが印刷可能な状態ではない。・移動先のプリンタが存在しない。

4.2.4 PWメッセージウィンドウの注意事項

- PWメッセージウィンドウの画面の文書名、所有者名文字数は、ANK で200文字まで表示することが可能です。しかし、印刷経路によっては、200文字以内でも表示されない場合があります。また、1行内に収まらない場合は自然改行され表示されます。
- PWメッセージウィンドウの文書名、所有者名に以下の文字を使用した場合、PWメッセージウィンドウに正確に表示できない場合がありますので、極力使用しないようにしてください。

— ANK文字 (コードセット0)

”(0x22), \$(0x24), &(0x26), ((0x28),)(0x29), *(0x2A), ;(0x3B), <(0x3C), >(0x3E), ?(0x3F), [(0x5B), ^ (0x5E), ` (0x60), (0x7C)
--

— 漢字コード(コードセット1) JIS X 0208-1983に準拠

区	漢字コード	文字
1	0xA1C2	//
9～15	0xA9A1～0xAFFE	JIS非漢字(OASYS特殊文字)
85～94	0xF5A1～0xFEFE	OASYS拡張漢字

— 外字(コードセット3)

すべての文字

4.3 運用上の注意事項

- 自動回復が可能なエラーは、エラーの要因を取り除いて、プリンタ装置をオンライン状態にすると、印刷が自動的に再開されます。印刷が自動再開された場合は、メッセージに対する応答を行わなくてもメッセージは自動的に取り下げられます。印刷が自動再開された後、メッセージが取り下げられるまでにメッセージ応答を行っても、メッセージの応答が無効になることがあります。
- Linuxサーバ上でコマンドライン操作などを実行し、対象の印刷要求を削除または保留した場合にも、メッセージは取り下げられます。
- Linuxサーバ上でコマンドライン操作などを実行し、対象の印刷要求を停止または保留した場合、メッセージが取り下げられるまでにメッセージ応答を行うと、コマンドライン操作が無効となる場合があります。

第5章 Webメッセージ連携の運用

本章では、Webメッセージ連携時の運用方法について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 5.1 Webメッセージスタートページ
- 5.2 Webメッセージウィンドウ
- 5.3 運用上の注意事項

5.1 Webメッセージスタートページ

5.1.1 Webメッセージスタートページ

ブラウザを起動してURLに“http://メッセージ管理サーバのホスト名/pwpm/default.htm”を指定することによって、Webメッセージスタートページを表示します。

表示例を図5.1に示します。(Webブラウザによっては、表示が異なる場合があります。)



図5.1 Webメッセージスタートページ画面

メッセージを受信すると、“Webメッセージウィンドウ”を表示します。アラート機能の動作環境の定義で、“クライアント上に表示するメッセージウィンドウをポップアップ表示するかどう”の指定を“表示しない”にした場合は、“Webメッセージウィンドウ”と記載された枠(図5.2)の色が変化します。それをクリックすると、“Webメッセージウィンドウ”が表示されます。

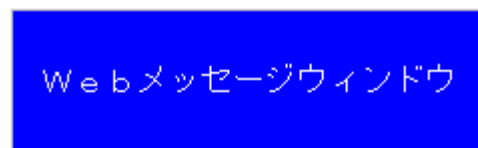


図5.2 “Webメッセージウィンドウ”と記載された枠

【注意事項】

- アラート機能を使用するには、「Webメッセージスタートページ」を表示しておく必要があります。
- 長時間の連続運用において、Webメッセージウィンドウの表示を繰り返し行った場合、使用メモリが増加することがありますので、定期的にWebブラウザの再起動を行ってください。
- 1クライアントで表示可能な「Webメッセージスタートページ」は、1画面のみです。誤って2画面開いた場合は、多重起動エラー「Webメッセージの起動に失敗しました。既に起動済みまたはサーバで切断処理中の可能性があります。」が通知されます。
- WebブラウザにMicrosoft® Internet Explorer®をご使用の場合、“Webメッセージウィンドウ”と記載された枠にカーソルを移動すると、環境によっては以下の現象が発生する場合があります。

「このコントロールをアクティブ化して使用するにはクリックしてください。」、「このコントロールをアクティブ化して使用するにはSpaceキーまたはEnterキーを押してください。」などのポップアップメッセージが表示され、“Webメッセージウィンドウ”と記載された枠が有効とならない。

このような場合、“Webメッセージウィンドウ”と記載された枠をクリックすることにより、ポップアップメッセージは消去され、有効となります。

なお、アラート機能の動作環境の定義で、“クライアント上に表示するメッセージウィン

ドウをポップアップ表示するかどうか”の指定を“表示する”にしている場合は、上記操作を行わなくても“Webメッセージウィンドウ”は表示されます。

5.1.2 メッセージ通知パネル

メッセージ管理サーバ上のPWメッセージ管理環境において、“メッセージ通知パネルを起動する”をチェックすると、“メッセージ通知パネル”（図5.3）が表示されます。

アラート機能の動作環境の定義で、“クライアント上に表示するメッセージウィンドウをポップアップ表示するかどうか”の指定を“表示しない”にしている場合は、“メッセージ通知パネル”の色が図5.4のように変化します。それをクリックすると、“Webメッセージウィンドウ”が表示されます。

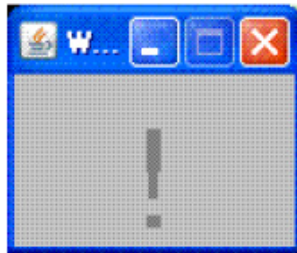


図5.3 メッセージ通知パネル
（メッセージ受信待機時）



図5.4 メッセージ通知パネル
（メッセージ受信時）

【注意事項】

- Webメッセージ通知パネル起動時にウィンドウが正しく表示されない場合があります。ブラウザの「更新」ボタンで更新、またはブラウザを再起動してください。
- Webメッセージ通知パネルでは「最小化」、「最大化」および「閉じる」ボタンが付加されます。「閉じる」ボタンをクリックしても終了しません。（Sun Virtual Machine (Java仮想マシン)をお使いの場合、「最大化」ボタンは使用できません。）
- Internet Explorer + Java Runtime Environment (JRE)環境において、Webメッセージ通知パネルを使用しないでください。ブラウザの更新、および、再読み込み操作を連続して実施した際に、動作異常となる場合があります。

5.2 Webメッセージウィンドウ

Webメッセージウィンドウには、以下のメッセージが表示されます。

- エラーメッセージ
- 情報メッセージ
- 警告メッセージ

5.2.1 エラーメッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには、以下のものがあります。

- 印刷時のプリンタ異常

本メッセージは、以下の場合に表示が取り下げられます。

- プリンタ異常が回復しスタート状態になった場合
- サーバにて印刷リトライ開始された場合
- 印刷要求が削除／保留された場合
- プリンタが停止された場合

印刷操作

Webメッセージウィンドウから以下のプリンタ操作ができます。Webメッセージウィンドウは、エラーとなった印刷要求への対処指示を対話形式で簡単に操作できるウィンドウです。

- 続行
- 削除
- 指定ファイル／指定部数／指定ページからの印刷再開
- 保留
- テストプリント
- 印刷先プリンタの変更

表示画面

Webメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

【第一画面】

エラーが発生した場合に表示される画面です。画面の表示概要を図5.5に示します。(プリンタ名が“LBPFNP”の場合)

また、図5.5の画面の説明を表5.1に示します。

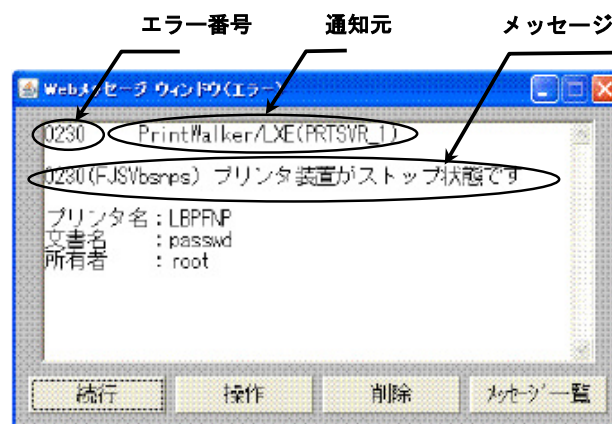


図5.5 Webメッセージウィンドウ（エラーメッセージの画面）

表5.1 Webメッセージウィンドウ（エラーメッセージの画面）の説明

項目	意味
表示内容	エラー番号
	エラー番号が表示されます。
	通知元
	「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
	メッセージ
	メッセージが表示されます。
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
表示内容	所有者
	所有者が表示されます。
続行ボタン	印刷を継続します。
操作ボタン	印刷操作のための画面（第二画面）を表示します。
削除ボタン	印刷要求を削除します。
メッセージ一覧ボタン	Webメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 Webメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

【第二画面】

Webメッセージウィンドウ（エラー）メッセージ画面で、「操作」ボタンを押下することで表示される第二画面にて、プリンタ操作ができます。第二画面の表示概要を図5.6に示します（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）。

また、図5.6の画面の説明を表5.2に示します。

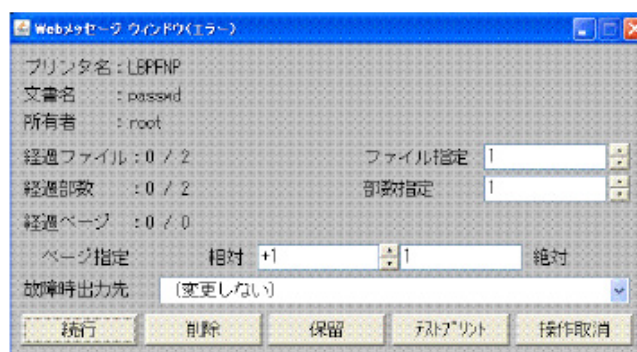


図5.6 Webメッセージウィンドウ（エラーメッセージの第二画面）

表5.2 Webメッセージウィンドウ（エラーメッセージの第二画面）の説明

項目	意味
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
	所有者
	所有者が表示されます。
	ファイル情報
	印刷文書の総ファイル数が2以上の場合に表示されます。
	経過ファイル（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みファイル数が表示されます。
	経過ファイル（分母）
	印刷文書の総ファイル数が表示されます。
	ファイル指定
	印刷再開するファイルを指定します。
	部数情報
	印刷文書の総部数が2以上の場合に表示されます。
	経過部数（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済み部数が表示されます。
	経過部数（分母）
	印刷文書の総部数が表示されます。
	部数指定
	印刷再開する部数を指定します。
	経過ページ（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みページ数が表示されます。プリンタとの回線切断やプリンタを電源断した場合は、実際の印刷枚数より少なく表示される場合があります。
	経過ページ（分母）
	印刷文書の総ページ数が表示されます。 (本版数では、常に0が表示されます)
	ページ指定
	印刷再開するページを指定します。
	故障時出力先
	このリストから印刷先プリンタの変更が可能です。 移動されるのは、該当印刷のみです。 なお、選択可能なプリンタについては、「3.1.2 故障時出力先プリンタ名の定義」を参照してください。
	続行ボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置から印刷を再開します。
	削除ボタン
	印刷要求を削除します。(第一画面の削除と同じです)
	保留ボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置で印刷を保留します。
	テストプリントボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置で試し打ち印刷を実施します。
	操作取消ボタン
	第一画面に戻ります。

【注意事項】

- プリンタ異常回復後からエラーメッセージの表示が取り下げられる間に印刷操作を行った場合には、プリンタ装置の自動再開印刷機能により、異常が発生したページの次の数ページが印刷される場合があります。
- プリンタ電源断などの要因でプリンタと通信できない場合、または、プリンタ装置で重度のハードエラーが検出された場合に通知されるメッセージは、エラー通知から約1分後の自動リトライ時に、一旦メッセージが取り下げられます。エラー要因が解除されていない場合は、再びメッセージが通知されます。
なお、自動リトライの間隔は、環境ファイルの“RETRYINTERVAL1”の値で変更できます。環境ファイルの設定値については、「【導入編】付録B 環境ファイル」を参照してください。
- アラート機能の動作環境の定義で、“クライアント上に表示するメッセージウィンドウをポップアップ表示するかどうか”の指定を“表示する”にしても、最前面に表示されない場合があります。

5.2.2 情報メッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには以下のものがあります。

- 用紙掛け替え通知
- 試し打ち終了通知

本メッセージは、以下の場合に表示が取り下げられます。

- 印刷要求が削除／保留された場合
- プリンタが停止された場合

印刷操作

Webメッセージウィンドウから以下のプリンタ操作ができます。Webメッセージウィンドウは、印刷要求への対処指示を対話形式で簡単に操作できるウィンドウです。

- 続行
- 削除
- 指定ファイル／指定部数／指定ページからの印刷再開
- 保留
- テストプリント（試し打ち終了通知時のみ）
- 印刷先プリンタの変更

表示画面

Webメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

【第一画面】

情報メッセージが通知された場合に表示される画面です。第一画面の表示概要を図5.7、図5.8に示します。（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）

また、図5.7および図5.8の画面の説明を表5.3に示します。

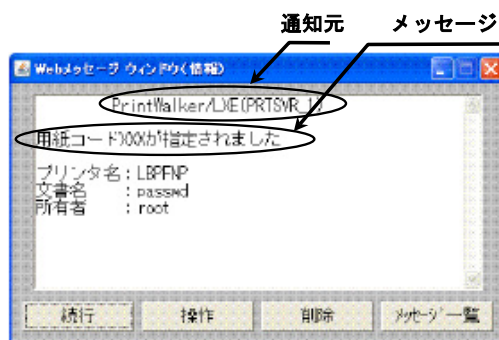


図5.7 Webメッセージウィンドウ
（用紙掛け替え通知時の画面）

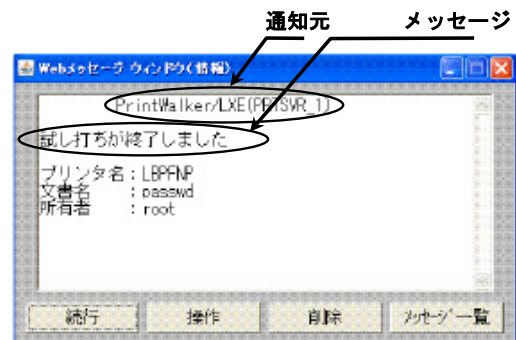


図5.8 Webメッセージウィンドウ
（試し打ち終了時の画面）

表5.3 Webメッセージウィンドウ（情報メッセージの画面）の説明

項目	意味
表示内容	通知元 「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。 印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
	メッセージ メッセージが表示されます。
	プリンタ名 メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名 文書名が表示されます。
	所有者 所有者が表示されます。
続行ボタン	印刷を継続します。試し打ちの応答メッセージの場合、次ページから印刷します。
操作ボタン	印刷操作のための画面（第二画面）を表示します。
削除ボタン	印刷要求を削除します。
一覧ボタン	Webメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 Webメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

【第二画面】

Webメッセージウィンドウ（情報）メッセージ画面で、「操作」ボタンを押下することで表示される第二画面にて、プリンタ操作ができます。第二画面の表示概要を図5.9に示します（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）。

また、図5.9の画面の説明を表5.4に示します。



図5.9 Webメッセージウィンドウ（情報メッセージの第二画面）

表5.4 Webメッセージウィンドウ（情報メッセージの第二画面）の説明

項目	意味
表示内容	プリンタ名
	メッセージ通知対象のプリンタ名が表示されます。
	文書名
	文書名が表示されます。
	所有者
	所有者が表示されます。
	ファイル情報
	印刷文書の総ファイル数が2以上の場合に表示されます。
	経過ファイル（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みファイル数が表示されます。
	経過ファイル（分母）
	印刷文書の総ファイル数が表示されます。
	ファイル指定
	印刷再開するファイルを指定します。
	部数情報
	印刷文書の総部数が2以上の場合に表示されます。
	経過部数（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済み部数が表示されます。
	経過部数（分母）
	印刷文書の総部数が表示されます。
	部数指定
	印刷再開する部数を指定します。
	経過ページ（分子）
	メッセージの発生した時点での印刷済みページ数が表示されます。プリンタとの回線切断やプリンタを電源断した場合は、実際の印刷枚数より少なく表示される場合があります。
	経過ページ（分母）
	印刷文書の総ページ数が表示されます。 （本版数では、常に0が表示されます）
	ページ指定
	印刷再開するページを指定します。
	故障時出力先
	このリストから印刷先プリンタの変更が可能です。 移動されるのは、該当印刷のみです。 なお、選択可能なプリンタについては、「3.1.2 故障時出力先プリンタ名の定義」を参照してください。
	続行ボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置から印刷を再開します。
	削除ボタン
	印刷要求を削除します。（第一画面の削除と同じです）
	保留ボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置で印刷を保留します。
	テストプリントボタン
	選択されたプリンタの指定ページ位置で試し打ちを実施します。 ※用紙掛け替え通知時には表示されません。
	操作取消ボタン
	第一画面に戻ります。

【注意事項】

- 試し打ち終了通知に対して第一画面で続行した場合、試し打ち印刷されたページの次のページから印刷を継続します。
- 試し打ち終了通知に対して第二画面で続行した場合、指定したページの試し打ち印刷を行います。
- アラート機能の動作環境の定義で、“クライアント上に表示するメッセージウィンドウをポップアップ表示するかどうか”の指定を“表示する”にしても、最前面に表示されない場合があります。

5.2.3 警告メッセージ

対象メッセージ

通知対象となるメッセージには以下のものがあります。

— Webメッセージウィンドウから印刷操作を行ったが、印刷操作できなかった。

本メッセージは、自動的に取り下げられません。

本メッセージに対する印刷操作はできません。

本メッセージが表示された場合は、印刷結果、および、印刷要求の状態を確認してください。

表示画面

Webメッセージウィンドウは、以下のように表示されます。

画面の表示概要を図5.10に示します。（プリンタ名が“LBPFNP”の場合）

また、図5.10の画面の説明を表5.5に示します。

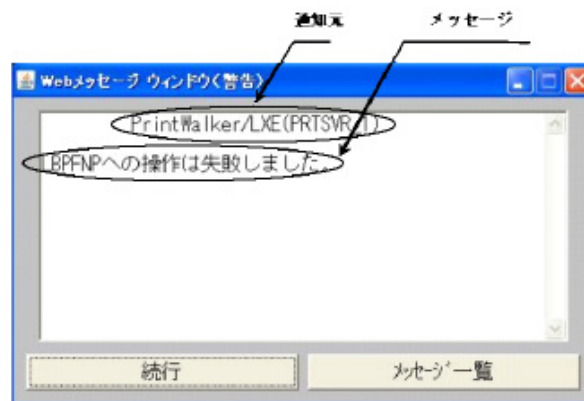


図5.10 Webメッセージウィンドウ（警告メッセージの画面）

表5.5 Webメッセージウィンドウ（警告メッセージの画面）の説明

項目	意味
通知元	「PrintWalker/LXE(印刷サーバ名)」と表示されます。 印刷サーバ名については、「3.1.3 動作環境の定義」を参照してください。
メッセージ	メッセージが表示されます。表示されるメッセージは表5.6のとおりです。なお、表5.6の【メッセージ】中のPRINTERには、プリンタ名が表示されます。
続行ボタン	Webメッセージウィンドウを閉じます。
一覧ボタン	Webメッセージ一覧（これまでに通知されたメッセージを一覧表示する画面）を表示します。 Webメッセージ一覧についての詳細は、『PrintWalker/PM』のソフトウェア説明書を参照してください。

表5.6 警告メッセージ

【メッセージ】	PRINTERへの操作は実施されませんでした。
【意味】	プリンタの操作ができませんでした。以下の理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・対象プリンタが存在しない。・対象プリンタが停止状態である。・対象印刷要求が保留状態である。・対象印刷要求が存在しない。
【メッセージ】	PRINTERへの操作は失敗しました。
【意味】	プリンタの操作ができませんでした。以下の理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・印刷コマンド実行時にエラーとなった。・移動先のプリンタが印刷可能な状態ではない。・移動先のプリンタが存在しない。

5.2.4 Webメッセージウィンドウの注意事項

- Webメッセージウィンドウの画面の文書名、所有者名文字数は、ANK で200文字まで表示することが可能です。しかし、印刷経路によっては、200文字以内でも表示されない場合があります。また、1行内に収まらない場合は自然改行され表示されます。
- Webメッセージウィンドウの文書名、所有者名に以下の文字を使用した場合、Webメッセージウィンドウに正確に表示できない場合がありますので、極力使用しないようにしてください。

— ANK文字 (コードセット0)

”(0x22), \$(0x24), &(0x26), ((0x28),)(0x29), *(0x2A), ;(0x3B), <(0x3C), >(0x3E), ?(0x3F), [(0x5B), ^ (0x5E), ` (0x60), (0x7C)
--

— 漢字コード(コードセット1) JIS X 0208-1983に準拠

区	漢字コード	文字
1	0xA1C2	//
9～15	0xA9A1～0xAFFE	JIS非漢字(OASYS特殊文字)
85～94	0xF5A1～0xFEFE	OASYS拡張漢字

— 外字(コードセット3)

すべての文字

5.3 運用上の注意事項

- 自動回復が可能なエラーは、エラーの要因を取り除いて、プリンタ装置をオンライン状態にすると、印刷が自動的に再開されます。印刷が自動再開された場合は、メッセージに対する応答を行わなくてもメッセージは自動的に取り下げられます。印刷が自動再開された後、メッセージが取り下げられるまでにメッセージ応答を行っても、メッセージの応答が無効になることがあります。
- Linuxサーバ上でコマンドライン操作などを実行し、対象の印刷要求を削除または保留した場合にも、メッセージは取り下げられます。
- Linuxサーバ上でコマンドライン操作などを実行し、対象の印刷要求を停止または保留した場合、メッセージが取り下げられるまでにメッセージ応答を行うと、コマンドライン操作が無効となる場合があります。